

仕 様 書

1 基本仕様

本機器の基本仕様は、以下の要件である。

機 器 名 称	×線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ
購 入 数 量	一式
納 入 場 所	千葉県山武市成東167番地 地方独立行政法人さんむ医療センター
納 期 限	令和5年3月31日まで

2 機器構成

本機器の構成は、以下の要件を満たすこと。

1	半導体検出器（FPD）3式は以下の仕様を満たすこと。
1-1	FPDはワイヤレスタイプの可搬型であること。
1-2	FPDの蛍光体はヨウ化セシウム（CsI）であること。
1-3	撮影サイズは348×425mm（14×17インチ相当）以上であること。
1-4	FPDの画素数は2800×3408以上であること。
1-5	濃度分解能は16bit以上であること。
1-6	画素サイズは125μm以下であること。
1-7	外形寸法は384×460×15.7mm以下であること。
1-8	重量はバッテリー込みで2.6kg以下であること。
1-9	防塵、防水性は国際規格 IPX6以上を備えること。
1-10	FPDはグリップ感を高められる凹みを4辺に有すること。
1-11	FPDは角落下に対応するコーナークッションを有する等堅牢な仕様であること。
1-12	X線を自動検知し撮影できる機構を有すること。
1-13	ワイヤレス、有線両方の運用が可能であり、有線接続した際、FPD用バッテリーに充電されること。
1-14	FPDにメモリを内蔵し、コンソールPCなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。
1-15	内蔵メモリには99枚以上の画像保存が可能であること。
1-16	バッテリーは着脱可能なバッテリーパック方式の場合、FPD1枚に対しバッテリーパックは、2式以上備えていること。 バッテリーが一体型の場合には、バッテリー寿命は、製品寿命と同等であることとし、劣化によるバッテリー交換費用が生じないこと。
1-17	FPD用バッテリーパック2つを充電できるバッテリーチャージャーを1式用意すること。FPD一体型の場合には、その限りではない。
1-18	FPD用のデータ通信、給電を行う有線運用ケーブルを備え、無線、有線のどちらにも対応できること。
1-19	FPD格納時でも、FPDの状況を表示し確認できる外部ユニットを有すること。
1-20	FPD充電機能を持った、ドッキングステーションを3式用意すること。
1-21	FPDは、既存の立位撮影装置に装着できること。既存の立位撮影台に装着ができない場合、同等の機能を有した撮影台を用意すること。
1-22	立位撮影台VB-57の受光部等、FPD装着に必要な部品の入れ替えをすること。
1-23	立位撮影台用カセットホルダーが装備されていること。
1-24	フォトタイマーに対応すること。
1-25	立位撮影台装置の上下動を操作するためのハンドスイッチは、両側に装備されていること。
1-26	撮影台に患者サポート用の握り棒、胸部側面撮影用に握り棒を装備すること。
1-27	14×17インチのFPD用グリッドを3式用意すること。
2	画像制御器（FPDコンソール）は以下の仕様を満たすこと。

2-1	撮影画像確認用に17インチ以上のタッチパネル式液晶カラーモニタを2式有すること。
2-2	撮影後3秒以内にプレビュー画像を表示できること。(X線自動検出モード時は5秒位以内に表示できること。)
2-3	ハードディスク内に2000画像以上を保存できること。
2-4	画像制御器からの出力階調は12bit (4096階調) 以上であること。
2-5	撮影検査部位に対応した解析パラメーターを有すること。
2-6	画像処理機能(階調処理・鮮鋭化処理・マルチ周波数処理)同等を有すること。
2-7	画像回転、反転、90度回転が可能であること。
2-8	アノテーション入力機能を有すること。
2-9	画像制御ソフトウェアのOSは、Windows10以上であること。
2-10	コンソール画面表示は日本語対応であること。
2-11	FPDのバッテリー残量が確認可能であること。
2-12	グリッドを使用しなくてもグリッドを使用したようなコントラストを得る画像処理(散乱線低減処理)を有すること。
2-13	回診車用途として、ノートPC型コンソールを別途1式用意すること。
3	ネットワーク機能として以下の要件を満たすこと。
3-1	DICOM Storageに対応可能であること。
3-2	DICOM Printに対応可能であること。
3-3	DICOM MWMに対応可能であること。
3-4	DICOM MPPSに対応可能であること。
3-5	画像の制御PCから撮影画像をDVDやUSB等の外部媒体へ出力が可能であること。
4	その他以下の要件を満たすこと。
4-1	画像検出器は「RoHS指令」に対応していること。
4-2	画像検出器の耐用年数は7年以上であること。
4-3	本入札金額には次の費用を含むこと。
4-3-1	調達物品と接続を行う各検査機器、システム側で発生する費用。
4-3-2	調達物品の運搬、搬送、設定施工、調整費等。
4-3-3	既存システムの撤去。
4-3-4	患者氏名、ID等の情報の取得のための費用(HIS, RIS等必要な接続費)。
4-3-5	画像サーバー(Synapse)・MWM棟必要な接続費用を含むこと。
4-4	機器の搬入、据え付け、配線、調整については当院の業務に支障を来さないよう十分な打ち合わせを行うこと。また、設置等に係る日程表を提出すること。
4-5	解体、搬出、搬入、据え付け、配線、配管、調整及びその他増改築付随工事については、当院の診療業務に支障を来さないよう当院職員の指示に従うこと。
4-6	既設電源の変更を必要とする場合は、落札業者の責任において行うこと。
4-7	調達物品の設置に関しては、落札業者の責任において行うこと。
4-8	本システムの設置場所は、当院が指定した場所へ設置すること。
4-9	機器の設置に必要な付帯工事(電源設備、給排水設備、空調設備、必要となる通線・接続工事など)は落札業者の責任により行うこと。
4-10	搬入運搬時及び据付工事の際、過って当院の機器・設備・建物等に損傷を与えた場合は、落札業者の責任において現状に復旧すること。
4-11	他者との調整は受注者が行うものとする。
4-12	納入後、1年間の修理・故障・部品交換は無償保証に対応すること。
4-13	今後当院がRISを導入した際、接続可能な機能を有すること。
4-14	納入後、1年間の無償期間に適時ソフトウェアのバージョンアップを無償で行うこと。
4-15	教育訓練・検査立会いは、当院の指定した日時・場所で行うこと。
4-16	契約締結後、当院と協議の上で可能な限り早期に納入すること。